



情報研究会CACTUS



第十一回 C言語講習



後半の復習

- 構造体
- ポインタ
- 文字列
- ファイル操作



今週の内容

- 演習



演習1 (成績)

3人の生徒の3教科の成績を入力し、それぞれの点数に応じて成績を表示してください。

100～80点 : A

79～60点 : B

60点～ : C

```
82 91 77
57 69 75
59 81 51
A A B
C B B
C A C
```

実行例

目的の処理が行える	+10点
構造体を利用している	+5点
関数を利用している	+5点

演習2 (文字列)

文字列Aから文字列B以降を抽出し表示するプログラムを作成せよ。
文字列Bが含まれない場合は”None”と出力せよ。

```
abcdehg  
cde  
cdefg
```

```
abcdefg  
xyz  
None
```

実行例

目的の処理が行える
string.hを利用している

+10点
+5点

演習3 (ハイスコア保存)

4人のプレイヤーがゲームをプレイした結果「ゴールするまでのタイム」「最終得点」「ゴール時の残機数」を総合スコアとする。
どのスコアを優先してハイスコアとして保存するかを選び、4人のうちそのスコアが一番高かったプレイヤーと歴代1位のハイスコアを比べ更新していたら新しいハイスコアファイルを出力せよ。
(同スコアのプレイヤーがいればどちらでもよいハイスコアとする)

```
4622 22000 3
```

High_Score.txt

実行例

```
スコアを入力してください[ミリ秒 得点 残機]
```

```
4899 17000 4
```

```
6755 23000 3
```

```
5121 21000 4
```

```
5977 12500 2
```

```
どのスコアで順位をつけますか？タイム?t 得点/s 残機/m  
s
```

```
6755 23000 3
```

High_Score.txt

目的の処理が行える	+10点
ポインタを利用している	+5点
関数を利用している	+5点